

丹南地域でこだわり米に取り組む農業者のみなさま

＜各制度の認証マークについて＞

	有機 JAS	有機農産物とは、有機 JAS 規格で定められた基準を満たし、オーガニック検査員による検査を受け、第三者機関である認定機関から認定を受けた農産物です。 販売する際には、「有機 JAS マーク」を表示することができます。このマークは、全国共通の認証マークです。
	福井県特別栽培農産物制度 認証区分①	国が定めた「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に従って生産された、化学合成農薬および化学肥料の窒素成分を福井県慣行栽培レベルの5割以上削減して生産した農産物です。 認証区分には、化学合成農薬と化学肥料の使用内容により4つ区分がありますが、今回は、栽培期間中、無農薬・無化学肥料栽培の認証区分①の農業者を紹介します。このマークは、福井県独自の認証マークです。
	池田町生命に優しい米づくり 認証区分「極」	池田町独自の「生命に優しい米づくり」の認証基準に従って生産されたお米について、現地審査、書類審査を受けて認定されます。 認証区分は、化学合成農薬と化学肥料の使用内容により4つ区分がありますが、今回は、栽培期間中、無農薬・無化学肥料栽培の「極」区分の農業者を紹介します。このマークは、池田町独自の認証基準です。
	エコファーマー	エコファーマーとは、「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律（持続農業法）」に基づき、栽培品ごとに①土づくり技術、②化学肥料低減技術、③化学農薬低減技術の3つの技術について、経営面積の5割以上導入するという5年後計画を作成し、知事の認定を受けた農業者の愛称名です。エコファーマー技術を導入して栽培した農産物を販売する際には、このマークを表示することができます。このマークは、全国共通の認証マークです。

地図 1 越前町 越前「田んぼの天使」有機の会さん

【栽培の特徴】	
項目	作業内容
育苗	温湯消毒した種子で薄播きし、プール育苗で丈夫な中成苗づくりに取り組む
代かき	秋と5月中旬、さらに田植えの2日前の計3回実施
田植	50~60株/坪で、2~3本/株の疎植を実施
除草	対策1: 秋の耕起後、EM活性液、米ヌカ、EMポカシでワラの分解とヒエの発芽を促進させる。 対策2: 冬水田んぼでトロトロ層を形成し、雑草の抑制 対策3: 田植え後、EM糖蜜活性液で膨潤なコナギを発酵枯死させる。その後の雑草の発生に応じて、チェーン除草を実施
肥料	長期発酵させたEMポカシを使用
薬剤防除	薬剤による防除はしません。入念な土づくりと長期発酵させたEMポカシ肥料により、病気にかかりにくい丈夫な稲づくりに努めている
土づくり	収穫後できるだけ早く、貝化石や天然苦土、微生物資材を投入して、耕起、代かきし、冬期湛水して土づくりをする。

【私達からの一言】
農業、化学肥料を一切使用しない有機 JAS 米です。自然の生態系を取り戻したい。また、次世代の子供たちに安全安心なお米を届けたいという想いを込めて、「田んぼの天使」と名付けました。虫やめだかなど、たくさん生き物と共に育った有機米は、さわやかな甘みとコシハリ特有のモチモチ感が特徴です。
有機コシハリ精米・玄米ともに、1kg、2kg、5kg、10kg、30kg 袋で販売しています。

【主な生産物】米（3kg）



【連絡先】
住 所：福井県丹生郡越前町江波
TEL：0778-32-3807
FAX：0778-32-3808
e-mail：tanbonotensi@palette.plala.or.jp

地図 3 美の里ファーム (越前町 三田村美恵さん・鯖江市 壽畑秀美さん)

【栽培の特徴】	
項目	作業内容
育苗	JAS 認証取得農家から温湯消毒・酵素消毒種子を購入。発芽から露地でプール育苗により、健良苗づくりに取り組む。
代かき	圃場高低差が3cm以下となるよう2回実施。2回目は、田植え2日前に行う。
田植	5月下旬に、疎植（45~50株/坪）で遅植えに取り組む
除草	対策1: 田植え直後の米ヌカ散布による除草 対策2: 竹ボウキによる雑草抑制 対策3: 中耕除草機等を利用した除草 対策4: 雑草の発生状況に応じて手取り除草
肥料	有機 JAS に適合のある有機質肥料を使用し、食味向上を目的とした適期に施用を行っている。
薬剤防除	にがりや海水を利用した予防対策を実施
土づくり	稲刈り後に発酵鶏糞と腐葉土、落ち葉利用による自家堆肥と有機石灰肥料による土づくりを実施。その後、緑肥田んぼと冬水田んぼをサイクルで実施。

【私達からの一言】
田んぼでメダカが生まれ育ち、冬のコハクチョウや田んぼの中のゲンゴロウなどの絶滅危惧種の生き物との共存共栄を可能とした環境に優しい農業を実践中です。天然の湧水を水源とした安心安全なお米です。自信を持っておすすめします。JAS 認証取得に向け奮闘中です。

【主な農作物】米（3kg）

【連絡先】
住 所：福井県丹生郡越前町天王
TEL：0778-34-1037
FAX：同上
e-mail：syuchan_rock@yahoo.co.jp
http://www.minori-farm.net/
<facebook> facebook.com/mie.mitamura
<twitter> http://twtr.jp/user/chinchilla0210/follow



地図 2 越前町 寺坂 康夫さん・律子さん

【栽培の特徴】	
項目	作業内容
育苗	60℃で10分の温湯消毒した種子を使用し、プール育苗で苗づくりを実施
代かき	田植え7日前に実施
田植	紙マルチ専用田植機で田植え
除草	紙マルチで雑草対策を実施
肥料	前年度の秋に鶏糞を散布。栽培期間中は無施用
薬剤防除	草刈機による畦畔除草の徹底 斑点米は、色彩選別機で除去
土づくり	鶏糞を散布し、軽く耕起して土づくりを実施

【私達からの一言】
秋に鶏糞を散布し、春の基肥、夏の穂肥・実肥は施用しないことで、食味が向上します。除草は、紙マルチでかなり抑制でき、手取り除草の労力は軽減できます。
とてもおいしいお米が慣行栽培のようにできます。それでいて安心安全。地域の環境にも、農家の方にも、消費者の方にも喜んでいただけるお米をお届けします。

【主な生産物】米（3kg）、みそ

【連絡先】
住 所：福井県丹生郡越前町内郡
TEL：0778-34-0643
FAX：0778-34-2643
e-mail：ainouen-2@ainouen.jp
http://www.ainouen.jp/



地図 12 越前市 弘法大師ファームみつまたさん (組合長 上嶋浩二)

【栽培の特徴】	
項目	作業内容
育苗	地域内の育苗センターから無農薬・無化学肥料栽培の苗を購入
代かき	田植えの2日前に実施
田植	疎植（50株/坪）で、遅植えに取り組む
除草	田植え直後に米ヌカ散布による除草対策を実施。雑草の発生状況に応じて、手取り除草を実施
肥料	有機 JAS 適合肥料を使用 (基肥：鶏糞 200kg/10a、穂肥：有機P7 レット60kg/10a)
薬剤防除	草刈機による畦畔除草の徹底。 斑点米の除去のため、JA 越前だけの良質米出荷施設を利用
土づくり	収穫後、1kg/200kg/10a 施用し、稲わらを早期にすき込んで土づくりを実施

【私達からの一言】
23年度始めて無農薬・無化学肥料栽培に取り組みました。初めての挑戦でヒ工取りに苦労しましたが、これから一歩ずつ研究し、消費者に安心してもらえる米づくりを目指します。

【主な農作物】米（3kg）

【連絡先】
住 所：福井県越前市三ツ俣町
TEL：0778-23-2130
(事務局長：奥山純昭)
FAX：同上
e-mail：mitumataya-632@sepia.ne.jp



地図 4 鯖江市 水間 洋一さん

【栽培の特徴】	
項目	作業内容
育苗	自家採取の種を、塩水選→温湯消毒→水浸→播種→田んぼでトンネル苗代（平床発芽）→水張り硬化の手順で育苗
代かき	小型管理機で田んぼの表面のみ耕耘
田植	歩行用田植機で移植
除草	田植え後、米ヌカと塩を散布し、その後は、主に手取りで除草をする。
肥料	必ずしも追肥をするわけではないが、施用する場合は、バイオ有機Sを使用している。
薬剤防除	田んぼの生き物を育む方向で、畦草は適当に刈る
土づくり	切葉、粉殻、米ヌカを散布。田んぼによっては、くず米を散布する。冬期は、天水を溜める方向で取り組む

【私達からの一言】
県特別栽培認証制度の認証区分①（無農薬・無化学肥料栽培）を利用して10年になります。H23年は、田畦で野鴨の卵が17個孵化しました。

【主な生産物】米（3kg）

【連絡先】
住 所：福井県鯖江市石田上町
TEL：0778-52-1071
FAX：同上
e-mail：tyoujirou@world.ocn.ne.jp



地図 7 越前市 佐々木 哲夫さん

【栽培の特徴】	
項目	作業内容
育苗	仲間より無農薬無化学肥料の苗を購入（プール育苗の成苗）
代かき	トラクターで2回実施。一回目は深水で行い、2回目は浅水で、低速回転により丁寧に実施
田植	疎植（50株/坪）
除草	1対策：田植え直後に米ヌカ70kg/10aを散布 2対策：田植え1週間以内にチェーンで除草 3対策：雑草の発生を見て、機械除草と手取りを行う
肥料	春に、ほかし肥 50kg/10a、有機P7肥料 30kg/10aを施用
薬剤防除	実施しない
土づくり	EM発酵鶏糞 150kg/10a、卵殻I-90kg/10aを施用

【私達からの一言】
無農薬の栽培歴18年。仲間と共に生産技術の向上に邁進中です。少しずつ具体的な対策が見え始めたところです。

【主な生産物】米（3kg）

【連絡先】
住 所：福井県越前市東庄境町
TEL：0778-43-0863
FAX：同上
e-mail：te339mail@wt.ttn.ne.jp



地図 5 鯖江市 藤本 肇さん

【栽培の特徴】	
項目	作業内容
育苗	自家種を温湯消毒し、プール方式で成苗まで苗をつくる
代かき	2回実施
田植	4.5葉の成苗で田植えを実施
除草	田植え直後の米ヌカ散布と深水管理で雑草を抑制に取り組み
肥料	有機 JAS に適合の資材を使用
薬剤防除	草刈機による畦畔除草の徹底。 斑点米は、色彩選別機で除去。
土づくり	3月中旬に、米ヌカ 30kg/10a、くず大豆 30kg/10a、豚糞堆肥 350kg/10aを施用し、冬水田んぼで土づくりを実施

【私達からの一言】
無農薬・無化学肥料栽培は、H2年より長年取り組んできました。毎年、除草対策は苦慮していますが、これからも小動物の命と共生するよう環境に配慮した栽培に取り組んでいきます。
私がつくったお米は、精米：650円/kg、玄米：550円/kgで販売しています。

【主な生産物】米（3kg）、羽二重（f）

【連絡先】
住 所：福井県鯖江市北野町
TEL：0778-51-4839
FAX：0778-54-0133
http://www.ssg2nd.com/fujimoto/index.htm



地図 6 鯖江市 はった農園 八田達雄さん・雄治さん

【栽培の特徴】	
項目	作業内容
育苗	無農薬無化学肥料栽培の苗を集落内の法人組織より購入。 (温湯消毒種子で、80~100g/箱の薄播きの苗)
代かき	田植え15~20日前と2日前の2回実施
田植	疎植（37株/坪）
除草	チェーン除草と中耕除草機による除草
肥料	有機 JAS に適合の資材を使用（有機P7 レット40kg/10a）
薬剤防除	草刈機やモアによる畦畔除草の徹底。 害虫の抑制を目的に、畦畔にミントを植栽。
土づくり	10月に稲わらの堆肥化を促進するため、自家堆肥1t/10aと1kg/200kg/10aを散布し、土づくりを実施。

【私達からの一言】
一消費者である自分が安心できる栽培方法に取組み、動・植物と共存できる農業を目指しています。

【主な農作物】米（3kg）、ワサビ、大豆、ブルーベリー

【連絡先】
住 所：福井県鯖江市中野町
TEL：0778-52-1327
FAX：0778-52-7372
e-mail：paddyfield8@hb.tp1.jp



地図 9 越前市 平澤 一広さん

【栽培の特徴】	
項目	作業内容
育苗	JAより無消毒種子を購入し、自分で苗づくり（プール育苗）
代かき	資材は、無肥料床土、有機入り床土、P7・P7リを使用
田植	草の発生を確認して確実に埋め込むように2回実施
除草	疎植（45株/坪）
肥料	田植え直後に米ヌカの散布により雑草を抑制し、雑草の発生状況を見て機械で除草する。
薬剤防除	有機 JAS に適合の資材を使用（アミノ酸肥料、ミネラル資材）
土づくり	実施しない
土づくり	土壌診断に基づき施肥設計。適正な資材を施用（発酵鶏糞、ミネラル資材）

【私達からの一言】
生き物の命がつながるような農業を目指し、稲を良く観察することで、最適な時期に十分な管理を行って、極力、化学肥料・化学農薬を使わないよう努めています。

【主な生産物】米（3kg）、野菜（トマト、レタス等）

【連絡先】
住 所：福井県越前市杉尾町
TEL：0778-42-1660
FAX：同上
e-mail：hirazawa@sky.plala.or.jp



地図 8 越前市 月尾森の馬小屋 代表 林 正樹さん

【栽培の特徴】	
項目	作業内容
育苗	仲間より無農薬無化学肥料の苗を購入
代かき	雑草抑制を目的に、田植え2日前までに2回実施。
田植	疎植
除草	田植え直後に米ヌカ 50kg/10aを散布し雑草抑制。その後、雑草の発生状況を見て手取り除草
肥料	田植え時に、有機 JAS に適合の資材を使用（有機P7肥料 60kg/10a、米ヌカ 50kg/10a、岩塩 25kg/10a 施用）
薬剤防除	草刈機による畦畔除草を徹底。薬剤散布はしない
土づくり	10月に、発酵鶏糞 120kg/10a、卵殻I-80kg/10a、有機P7 20kg/10aを施用し、その後、冬水田んぼを実施

【私達からの一言】
田んぼでメダカがスイスイ泳ぐような米づくりを目指し、米ヌカ除草だけでなく、手取りでの除草もしています。また、うま味が増すように岩塩を施用しています。
私達のお米は、「めだかスイスイ米」という愛称で販売しています。

【主な生産物】米（3kg）

【連絡先】
住 所：福井県越前市山室町
TEL：0778-43-1514
(事務局：市橋重幸)
FAX：同上

